学校番号	３０２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「保育基礎　ようこそ，ともに育ち合う保育の世界へ」教育図書						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもは社会を創る未来です。子どもが心身ともに健やかに育 つために，保護者による家庭での養育が最も重要であることには変わりませんが，社会の変化とともに， 保育所をはじめとする保育・教育施設による保育・教育の果たす役割が大きくなってきて います。育ち行く子どもを見守り育てる営みを通して，保護者や子どもにかかわる人々もまた育ち合う学びを目的としています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　子どもの人格形成における保育の重要性を理解する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
　子どもの保育の特徴や，保育者に求められる姿勢 などについて要点をまとめる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　保育の意義について，自分自身が親や保育者になることを考えるなど，自分の人生観と結びつける力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの人格形成における保育の重要性を理解することができる。	子どもの保育の特徴や,保育者に求められる姿勢 などについて要点をまとめることができる。	保育の意義について,自分自身が親や保育者になることを考えるなど,自分の人生観と結びつけることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学	保育の意義	・保育には，子どもの生涯の人格形成の 基礎を培う重要な意義があることを理 解する。 ・保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考える。	a: 子どもの人格形成における保育の重要性を理解し ている。 b: 子どもの保育の特徴や，保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 c: 保育の意義について，自分自身が親や保育者にな ることを考えるなど，自分の人生観と結びつけて 考えようという姿勢が見られる。	定 期 考 査	定期考査 レポート ふ り か えり	グループワーク 発表会
	保育の環境	・家庭及び幼稚園，保育所や認定こども 園について，それぞれの養育･保育環境の特徴や役割を理解する。				
	保育の方法	・子どもの成長には，子どもを受け止め 理解してくれる大人の存在が不可欠であることを知る。 ・保育所保育指針や幼稚園教育要領，幼 保連携型認定こども園教育・保育要領 について調べ，子どもの発達における保育・教育の目的や目標について理解する	a: 保育者から子どもへのはたらきかけの重要性を理解している。 b: 保育所保育指針などが目標とする子どもの育ちを 支えるために，保育者としてどのようなことが大 切か，自分の考えをもち，話し合うことができる。 c:自身が保育者になることを想像しながら，子どもと積極的に取り組む姿勢が見られる。			
	子どもの健康と生活	発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。 ・子どもを安全に養護するためのポイントや，注意点について知る。 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の違いを理解し，その具体的な内容について知る。	a:子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 b:保育者としての具体的なかかわり方などを考察し，工夫することが できる。 c: 保育者の立場になった時にどう接したらよいかを考えることができる。			

2学期	保育実習	実際に子どもとふれ合うことを通じて，子どもの保育の方法や発達，健康・安全，福祉，遊びについて理解を深める。	a: 子どもの年齢に応じた接し方を理解している。 b: 保育実習において，子どもの発達や生活の特徴を 調査・観察し，まとめたり発表したりすることが できる。 c: 保育実習において，子どもの発達段階や生活の特徴を意識しながら，積極的に子どもとかかわろうとしている	授業観察 小テスト	レポート ふりかえり	事前準備 授業観察 レポート
	子どもの文化	子どもの成長を支える児童文化財の存在を知り、その必要性と、発達段階に応じた文化財を制作することができる。	a:制作に自分なりの工夫をしながら積極的に取り組んでいる。 b:子どもの発達段階に応じた文化財を制作している c:自分なりに調べ、制作に生かそうとしている。	制作実習	制作実習	レポート
	子どもの食事	乳幼児期の栄養や食事（乳汁栄養や離乳食，幼児食など）の特徴を実習を通して理解する。	a:子どもの食生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 b:衛生的で子どもの月齢に応じた食事を考えられる。 c:子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	定期考査 制作実習	定期考査 振り返り	レポート グループワーク
	調理実習	離乳食や、子どもと作れる料理、行事食の作成を通じて、食育の大切さを理解する。	a:行事食に対して理解しようとしている b:子どもが喜ぶような飾りや工夫をこらしている ｃ：積極的に取り組んでいる	レポート	レポート 振り返り 授業観察	授業観察
3学期	保育技術検定	技術検定の概要を知り、模擬検定を実施することで、自ら行動する姿勢を養う	a:今までの知識を活用して取り組むことができる b:適切な声掛けや動作を心掛けている c:事前練習に積極的に取り組んでいる	模擬検定	模擬検定	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度